

島根県益田市益田地区

地域づくりのテーマ:『ひと・まち・歴史の鼓動を感じるまち』



①地区の概要

【地区の現況】(令和5年1月末時点)

28自治会 2,758世帯 人口5,754人 高齢化率34.0%

【地区の魅力】

益田地区は、中世鎌倉時代から戦国時代まで益田氏の城下町として栄え、歴史・文化遺産の多い地区で「七尾城跡」「三宅御土居」や名勝雪舟庭園2カ所を含めた12の日本遺産構成文化財がある。また、警察署や県合同庁舎などの公的機関があるほか、高等学校が3校、高等看護学院がある文教地区でもあります。

【地区の課題】

- 人口減少及び高齢化
- 商店の減少
- 自治会役員の担い手不足、伝統行事の後継者不足
- 地区の歴史・文化に対する認識不足

②実施団体の概要

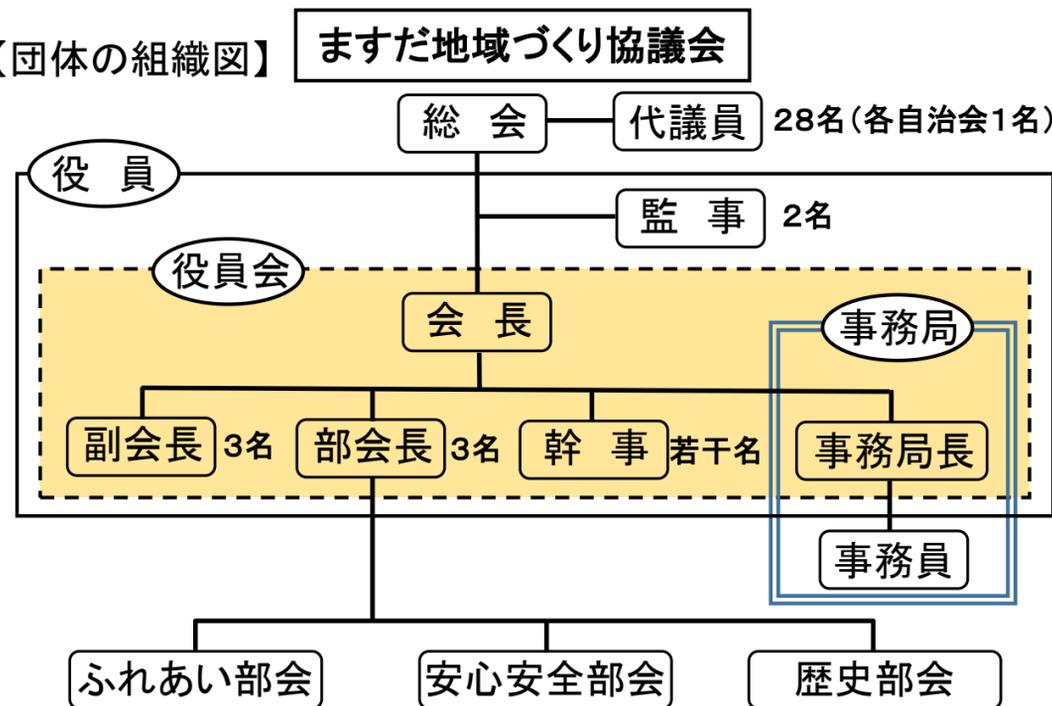
【団体の名称】

ますだ地域づくり協議会 (R01.09.01設立)

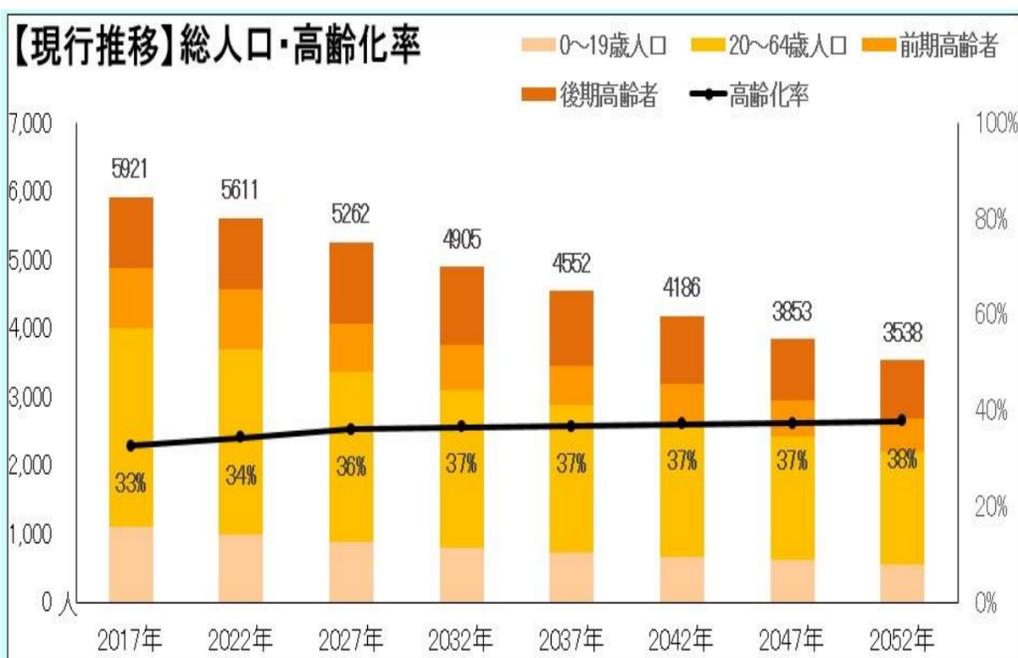
【役員・部会員選出団体等】

- 益田地区自治会連合会
- 益田地区社会福祉協議会
- 益田地区民生児童委員協議会
- 益田商店会
- 益田小学校PTA
- 益田東中学校PTA
- 益田地区老人クラブ連合会
- 益田地区つろうて子育て協議会
- 生き生き益田の会
- 消防団益田第1分団
- 益田地区食生活改善推進協議会
- 地区住民

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料: 島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

- 歴史部会
歴史を学び、守り、伝える活動
歴史イベント、祭り、文化を若い世代に繋げる活動
- ふれあい部会
ふれあいの場の設定
福祉活動に関わる人の輪を広げる
- 安心安全部会
自主防災を設立し、災害時の体制づくりを図る
各自治会における高齢者見守り活動を充実させ、促進する



【団体長メッセージ】 本年度コロナ禍の中、各部会において工夫を凝らし事業展開をしてまいりました。歴史部会は、第2回日本遺産スタンプラリーを実施いたしました。益田地区日本歴史遺産指定施設を巡り、益田東中学校1年生の生徒には、地元の魅力を改めて感じていただけたと思います。ふれあい部会は、令和3年度より益小プロジェクトを実施し、住民の皆さんに役立つ内容を目指しています。安心安全部会は、自主防災に対する行動を考え、災害避難の在り方についても検討しています。また、新しくなった「歴史文化交流館」の活用も考えてまいります。

ますだ地域づくり協議会 会長 右田 明

島根県益田市益田地区

⑤こんなことが話し合われています



役員会

役員会は各部会の活動報告、部会間の調整、最終的な意思決定の場として機能している。



ふれあい部会

インターネットを活用した情報発信や勉強会を行っている。昨年担当している「益小プロジェクト」や移動手段、ふれあい食堂について話し合いを行っている。



歴史部会

日本遺産の整備事業や活用方法などについての検討、見直し。昨年行った「日本遺産認定記念スタンプラリー」について協議し、準備などを行う。



安心安全部会

自主防災組織設立の必要性や災害時の体制づくりなど協議し、講師の方を招いて「自主防災勉強会」を企画、開催を行う。

⑥こんな地域づくりを行なっています



自主防災勉強会

今年度安心安全部会では、8月24日（水）と11月18日（金）の計2回NPO法人防災支援センター代表の桂木正則さんに講師をお願いし、各自治会長を対象とした自主防災組織設立へ向けての勉強会を行った。

第2回日本遺産スタンプラリー

昨年度から地域自治組織と益田東中学校が協働し開催している。イベント前には、ポスターを作り各自治会へ掲示してもらい、当日は中学1年生全員（74名）がスタッフとして参画し、歴史部会を中心に地区内の団体や個人と一緒に活動した。

益小プロジェクト

益田小学校6年生有志が大人と一緒に活動する「益田地区をもっと幸せにしようプロジェクト」今年度は〈お祭り〉をテーマに自分たちで考え、クッキング、消しゴムハンコ、ゲームのチームに分かれ、準備、接客なども大人の手を借り、自分達で行った。

〒698-0005
益田市本町6番8号

お問い合わせ先

ますだ地域づくり協議会(益田公民館内)
Tel. Fax 23-5752(益田公民館)
URL: <https://www.masuda-tiikidukuri.com/>

